



2021年12月14日

各 位

会 社 名 株式会社 安永
代表者名 代表取締役社長 安永 暁俊
(コード：7271、東証第1部)
問合せ先 管理本部長 北村 直紀
(TEL. 0595-24-2122)

プライム市場選択申請書及び計画書提出のお知らせ

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日、プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関しては2025年度末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

No.	項目	上場維持基準	当社の状況 (移行基準日時点)	計画書に 記載の項目
1	株主数	800人以上	6,411名	—
2	流通株式数	20,000単位以上	71,955単位	—
3	流通株式比率	35%以上	55.6%	—
4	流通株式時価総額	100億円以上	86.7億円	○
5	売買代金	1日平均売買代金 2,000万円以上	5,793万円	—

※当社の適合状況は、東証が移行基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容については、添付の「プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画書」をご参照ください。

※本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上

プライム市場 上場維持基準の適合に向けた計画書

株式会社 安永

証券コード：7271



2021年12月14日

- 1. 上場維持基準の適合状況**
- 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、
課題および取組内容、計画期間**
- 3. 取組内容の詳細**



1. 上場維持基準の適合状況

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準を充たしておりません。

当社は、流通株式時価総額に関しては2025年度末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

No.	項目	上場維持基準	当社の状況 (移行基準日時点)	計画書に 記載の項目
1	株主数	800人以上	6,411名	—
2	流通株式数	20,000単位以上	71,955単位	—
3	流通株式比率	35%以上	55.6%	—
4	流通株式時価総額	100億円以上	86.7億円	○
5	売買代金	1日平均売買代金 2,000万円以上	5,793万円	—

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、 課題および取組内容、計画期間

基本方針

様々なコーポレート・アクションを実施し、持続的な成長を通して中長期的に企業価値を向上させることにより、プライム市場上場維持基準の適合を目指します。

課題および取組内容

上場維持基準に未達となっている流通株式時価総額の向上には、時価総額および流通株式比率の向上が必要

・時価総額の向上

- ①業績の向上 … 中期経営計画の達成
- ②IR強化 … 株主・投資家向け情報発信強化

・流通株式比率の向上

- ③流通株式数の増加 … 株式持合解消を含む諸施策実施

計画期間

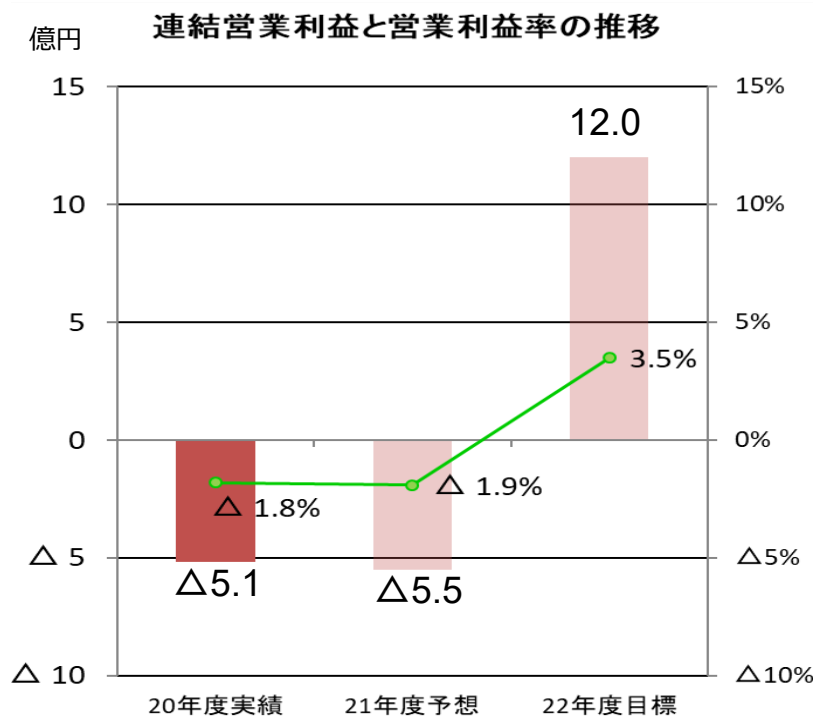
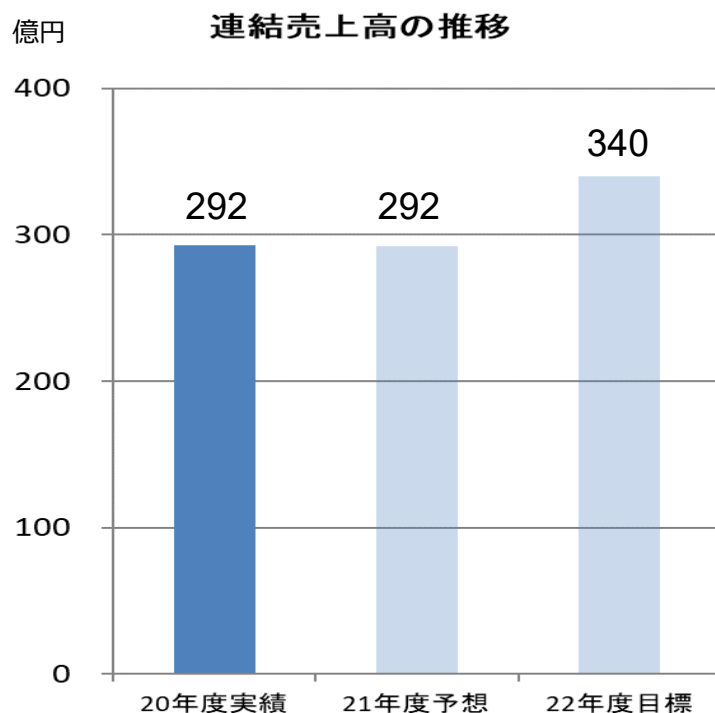
2025年度末までの期間で達成を目指す(次期中計は2023年5月開示予定)

3. 取組内容の詳細 ①業績の向上

①業績の向上 … 中期経営計画の達成

第6次中期経営計画（2020年度～2022年度）は『グローバルニッチNo.1』を広げてのスローガンのもと、最終年度の目標値達成を目指します。

（2020年5月15日開示の「第6次中期経営計画について」をご参照ください）



2020～2021年度は新型コロナウイルスの感染拡大と自動車メーカーの生産調整等の影響を受けましたが、2022年度の業績は同影響からの回復を予想しております。



検査測定装置



ワイヤソー



エアークポンプ



ディスクポーザ



コンロッド



シリンダーヘッド



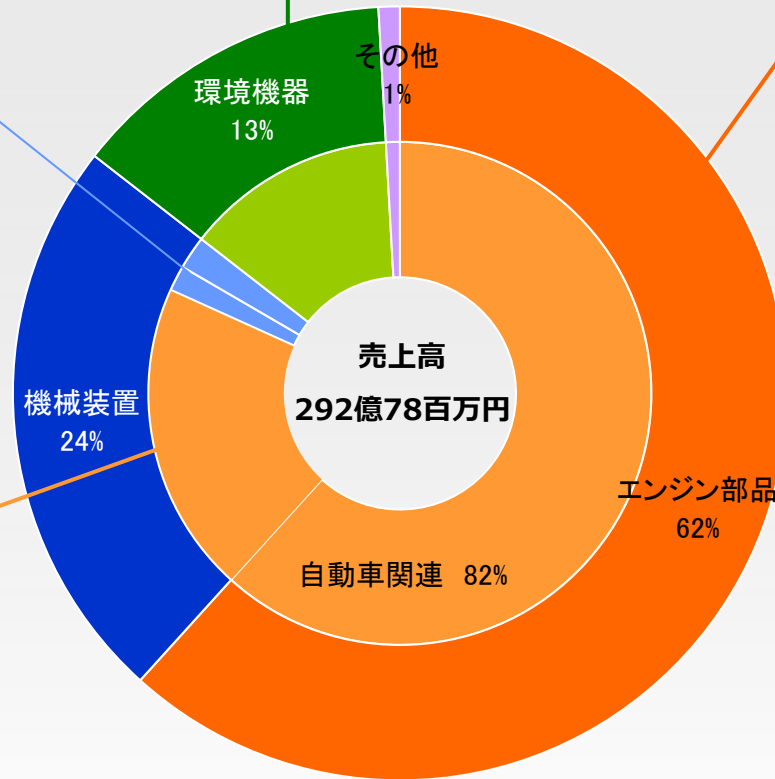
シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト

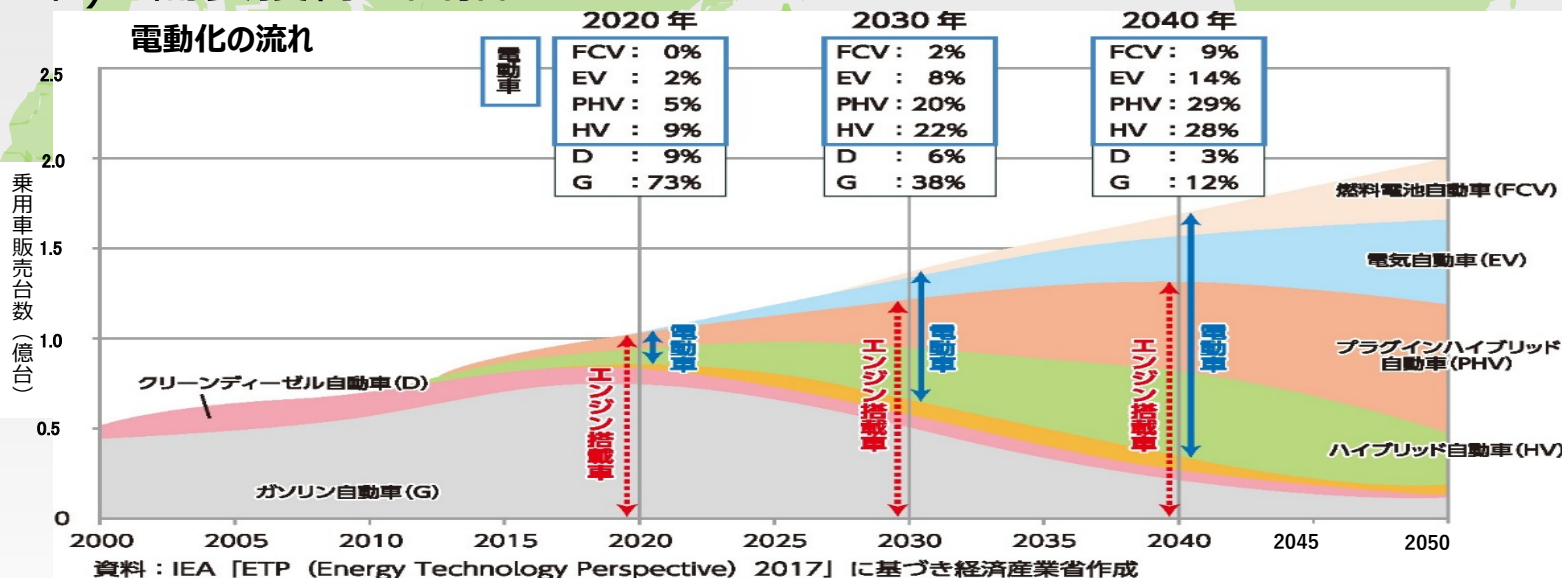


工作機械

事業戦略

エンジン部品事業

- ◇機械装置事業とのシナジー効果で、当社の戦略製品である5-C部品（コネクティングロッド、シリンダーヘッド、シリンダーブロック、カムシャフト、クランクシャフト）を中心に、エンジン部品以外の製品についても積極提案。
- ◇自動車メーカーの外注化需要及び海外現地生産・現地調達(タイ、インドネシア、北米)の需要獲得を目指す。



出典：2018年版ものづくり白書（経産省）

事業戦略

機械装置事業

- ◇ 独創的なコア技術と価格競争力および生産性の更なる向上で、最適なモノづくりを創出し、顧客ニーズに合った製品を提供。
- ◇ これまで培った当社の強みを伸ばすことによる既存市場の拡大と、C A S E など自動車産業の大変革により生まれるビジネスチャンスを狙う。



工作機械



ワイヤソー



検査測定装置

事業戦略

環境機器事業

- ◇顧客・市場ニーズへの迅速な対応力と、ユーザーから信頼される高品質な製品を提供し続けることにより、「浄化槽用エアープンプ」「燃料電池用エアープンプ」「ディスポーザ」の3本柱で、世界NO.1ブランドを目指し、環境分野で社会に貢献。
- ◇特に「浄化槽用エアープンプ」は、環境意識が高まりつつあるアジアでの販売基盤の確立及び国内市場でのシェア拡大に注力。



浄化槽用エアープンプ



燃料電池用エアープンプ



ディスポーザ

事業戦略

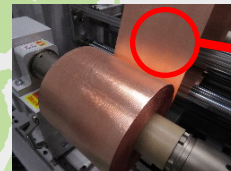
新事業創出

◇ 『二次電池関連技術』

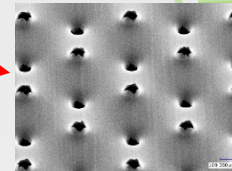
リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンキャパシタ向けの「穴加工箔」及び「極板への穴加工」において、性能評価中の顧客へのフォローを継続。さらに蓄電デバイス以外の市場開拓や新用途の創出を目指す。



量産設備



穴加工箔製品



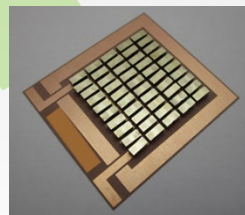
拡大画像

◇ 『熱電発電素子関連技術』

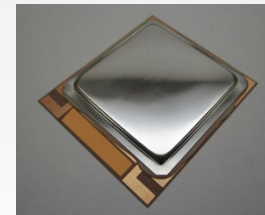
独自開発した熱電発電モジュールの完成度を高め、車載用途や工場排熱利用での熱電新事業の立上げを目指す。



熱電発電素子



評価用モジュール



3. 取組内容の詳細

②IR強化

③流通株式数の増加

②IR強化 … 株主・投資家向け情報発信強化

機関投資家向けには年1回の決算説明会および随時の電話会議で対応してまいりました。今後はこの頻度を高めた対応を検討します。

また個人投資家を含めた多くの方への情報発信を強化すべく、当社ホームページでの情報発信頻度を高め、開示資料の充実を図り、当社の現状をご理解頂けるよう努めてまいります。

開示資料の充実としては、当社の技術の他、SDGsやカーボンニュートラルへの取組み等を検討しております。

③流通株式数の増加 … 株式持合解消を含む諸施策実施

金融機関、事業会社などの株式持合いの解消に向けて交渉を進める等により、流通株式数の増加を目指します。